

降ったり照ったりの不規則な天気が続いています。いっそ降ってくれば、雨の匂いを感じながら、一日ゆっくり本を読む休日もおつなものなのですが…

さて先日、全国の書店員さんの投票で選ばれる今年の『本屋さん大賞』が発表されました。大賞はテレビ等でも早くから評判で、あさのあつこの『バッテリー』、森絵都の『DIVE！』に感動した人には絶対おすすめの作品です。まさに、休日の朝から読むのにぴったり！

他の受賞作もどれもおすすめ。ぜひ子ども図書館で手にとってみてください！

トップ3はこちら！




『1瞬の風になれ』
佐藤多佳子 / 講談社

『夜は短し歩けよ乙女』
森見登美彦 / 角川書店


『風が強く吹いている』
三浦しをん / 新潮社

『ドテラウルス』のさき まいこ / (作) 学研



土手にはドテラウルスっていう怪獣がいるんだって。ドテラウルスに会いたくなかった私は、土手に行ってみることにしました。変な音はするけれど、ドテラウルスの姿は見えません。あきらめて帰ろうとした、そのとき…

『10代からの子育てハッピーアドバイス』
明橋 大二 / 著 1万年堂出版社




子どもの心を見失わないために、いったい何ができるのか。心身症や非行に走らせないために、ふだんから何ができるのか。10代という、困難な年頃を生きていく子どもたちを支えるヒントを、マンガやイラストを使って紹介する。

児童書

今月のおすすめ新着本！


一般書

『夢のつづき』那須田 淳 / 作 ひくまの出版



ぼくとリカは手をつないで、そのまま街の上空をとびつづけた。風が耳もとでやさしく鳴っていた。ぼくらは、夜のまったなかにおいて、小さな妖精たちのように遊ぶのだった…。ひとり静かな夜に読んでほしい、心温まる物語。

『ひとり日和』青山 七恵 / 著 河出書房新社



東京で暮らせるのであれば、なんだってよかった——二十歳の私が居候することになった遠い親戚の吟子さんの家。七十一歳の老女との共同生活をとおり、私の自立をしなやかに描き選考委員に絶賛された、第136回芥川賞受賞作！

その巻の巻本

この他にもたくさん入っています。新着本コーナーをご覧ください。

タイトル	人名	出版者
いのちに抱かれて	鳴海 章 / 著	徳間書店
失われた町	三崎 亜記 / 著	集英社
風は山河より 第4巻・第5巻	宮城谷 昌光 / 著	新潮社
刀語 第3話	西尾 維新 / 著	講談社
クロスロード 2・3	泉 忠司 / 著	ゴマブックス
図書館危機	有川 浩 / 著	メディアワークス
病気になるない生き方 2	新谷 弘実 / 著	サンマーク出版
保育園で教えてもらった園児に人気のにっこりおやつ	主婦と生活社 / 編	主婦と生活社
夢を与える	綿矢 りさ / 著	河出書房新社
夜は短し歩けよ乙女	森見 登美彦 / 著	角川書店
ラスト・イニング	あさの あつこ / 著	角川書店
アローハンと羊	興安 / 作	こぐま社
おおかみベコベコ	宮西 達也 / 作・絵	学研
かあさんから生まれたんだよ	内田 麟太郎 / 文	PHP研究所
カッレくんの冒険	アストリッド・リント・グリーン / 作	岩波書店
日本全国恐竜に会いに行こう！		昭文社
ねずみくんのきもち	なかえ よしを / 作	ポプラ社
はるかぜのホネホネさん	にしむら あつこ / さく・え	福音館書店
ブタベイカリー	角野 榮子 / 作	文溪堂
らくご長屋 10	岡本 和明 / 文	ポプラ社

休館日 6月7日～7月10日の間は休館日はありません